

価格保障と所得補償で 米作りと水田 守ります 日本共産党

スーパーから米が消え、買えない人が続出。この夏の米の異常事態は自民党政府の無責任な農政が原因です。

「あと数年で田んぼやる人がいなくなる」。この声をしっかり受け止め、米作りが成り立つようにする——。国民が安心して米を食べ続けられるようにする確かな道です。



価格保障と所得補償で
米農家を支える

米の需給と価格の安定に
政府が責任をもつ

ゆとりある需給計画で
米の増産、備蓄をはかる

ミニマムアクセス米の
輸入を廃止する

子ども食堂やフードバンクへの支援など
低所得者への食料支援を強化する

自由化・市場まかせの

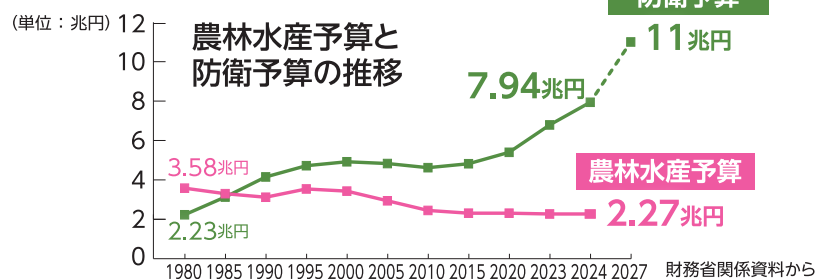
自民党農政が続けば日本の未来はない

農業が衰退し、食料の6割以上が海外だのみ…。

歴代自民党政府が、米国いいなり大企業の利益優先で、際限ない輸入自由化、農業予算の削減、市場まかせを進めてきた結果です。

改定食料・農業・農村基本法は自給率向上の目標を事実上投げ捨て、「いざ」という時に農家に「イモ作付け」などを強制する法律まで…。

こんな農政が続いたら農業と農村は崩壊し、日本の未来はありません。



日本共産党も伸ばし実現も

食と農の 再生プラン

農業を国の基幹的生産部門に位置づけ、再生に全力つくします。

- 食料自給率の早期50%回復、引き続き60%めざす
- 輸入自由化路線を転換し、食料主権を回復する
- 価格保障・所得補償で農家の経営・生活を支える
- 次代の農業者の育成・確保を国家プロジェクトとして推進する
- 農林水産予算を基幹産業にふさわしく抜本的に増額する

